

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光リスクマネジメント Risk Management in the Tourism Industry		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ビジネス実務総論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
リスクマネジメント論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
本授業では、観光産業における「企業のリスク管理」、「市場リスクの変化」、「観光リスクマネジメント」、「観光リスクマネジメントの事例研究」、「変動する世界の観光事情」などの学習を通して、不測の損害を最小の費用で効果的に対処するリスクマネジメントのスキルと実務能力を養成しながら、創意工夫できる「即戦力」を養うと同時に、グループワークによるプレゼンテーションを通して、最新のリスクマネジメント・スキルの習得を目的とする。				
授業の目標				
①「企業のリスク管理」を吟味し、「リスク、リスクマネジメント、危機管理」の定義を習得できるようにする。 ②「市場リスクの変化」を吟味し、「観光危機管理の4つのR」を習得できるようにする。 ③「観光リスクマネジメントのポイント」を吟味し、「事業リスクマネジメント」を習得できるようにする。 ④「観光リスクマネジメントの事例研究」を吟味し、「リスク対応戦略」を習得できるようにする。 ⑤「変動する世界の観光事情」を吟味し、「消費者によるリスクの認知と評価」への対応戦略を習得できるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、観光リスクマネジメントに精通した人材育成を目指すものである。				
学習の成果（学習成果）				
①観光リスクマネジメントの諸定義、②観光リスクマネジメントのポイントと事例研究、③変動する世界の観光事情への対応戦略等の知識・概念に習熟し、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自立した学習法を観光ビジネスシーンにおいて活用できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの解説・授業の狙いと進め方・成績評価等）/レポート課題説明と出題			
第2回目	企業のリスク管理(リスク/リスクマネジメント/危機管理/最近のリスクの傾向/情報の非対称性/レモン市場/シグナリング)			
第3回目	市場リスクの変化(8つのキーワードで考える観光危機管理：①日本の「安全・安心」の喪失、②国内の旅行消費額の推移、③インバウンド旅行者の2020年目標、④2016年度観光産業の波及効果)			
第4回目	市場リスクの変化(⑤危機管理とリスク管理、⑥観光危機管理計画、⑦「想定外」の問題、⑧「危機」＝「危：危険」＋「機：機会」)、(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)			
第5回目	市場リスクの変化(観光危機管理のポイントは4つのR：①Reduce(減災)、②Readiness(備える)/リスク分析の検討事項/事例/演習問題)/レポート課題説明と出題			
第6回目	市場リスクの変化(観光危機管理のポイントは4つのR：③Response(対応)/リスク分析の検討事項/事例/演習問題、④Recover(回復)/リスク分析の検討事項/事例/演習問題)			

第7回目	市場リスクの事例研究(避難所などの新しい地図記号、災害の種類との併用を想定(国土地理院)/「首都直下地震等対処要領」策定(東京都)/地区防災計画ポータルサイト/観光危機管理基本計画)	
第8回目	観光リスクマネジメントのポイント(コモディティ化/個人化/WEB化/コンテンツ戦略/サイト戦略/プロモーション戦略)、(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)	
第9回目	観光リスクマネジメントのポイント(事業リスクマネジメント/ERM(全社的リスクマネジメント)/観光産業におけるリスクマネジメント/旅行業での事例研究)/レポート課題説明と出題	
第10回目	観光リスクマネジメントの事例研究(エジプト/リスクマップの作成/リスク対応戦略)	
第11回目	観光リスクマネジメントの事例研究(個別のリスク対策/リスクの削減と転嫁/リスク総合評価と旅行形態の選択)	
第12回目	変動する世界の観光事情(人間の生活条件の変化)	
第13回目	変動する世界の観光事情(自然の変化)	
第14回目	変動する世界の観光事情(消費者によるリスクの認知と評価)、(グループワークによるプレゼンとディスカッション③)	
第15回目	変動する世界の観光事情(旅行商品)	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	10%	以下の3点から評価する：①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	Sのレポートの評価：①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書		
小テスト	40%	グループワークによるプレゼンテーション力のS評価：①内容が創意工夫した発表となっている、②グループの意見が論理的に述べられている、③グループで協働し、積極的に質疑応答に臨んでいる。
試験		
発表内容(態度含む)	20%	Sのレポート発表評価：①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他		上記評価基準に基づき成績評価：S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59
教科書と参考図書		
長江庸泰作成の“デジタルテキスト[観光リスクマネジメント2016年度版]”を活用する。		
履修上の留意点・ルール		
本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。		